

委託業務特記仕様書（令和3年2月1日以降適用）

（共通仕様書の適用）

- 第1条** 本業務は、「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に基づき実施しなければならない。なお、これらに定めのないもので、港湾設計・測量・調査等業務にあつては「港湾設計・測量・調査等業務共通仕様書（国土交通省港湾局）」に基づき実施しなければならない。
- 2 ただし、共通仕様書の各章における「適用すべき諸基準」で示された示方書、指針等は改定された最新のものとする。なお、業務途中で改定された場合はこの限りでない。

（共通仕様書の変更・追加事項）

- 第2条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」に対する【変更】及び【追加】仕様事項は、次のホームページに掲載の「委託業務共通仕様書（変更・追加事項）」のとおりとする。なお、入札公告日又は指名通知日における最新のものを適用するものとする。

（徳島県HP）：「委託業務共通仕様書について」

<https://www.pref.tokushima.lg.jp/jigyoshanokata/kendozukuri/kensetsu/2009033100099>

（共通仕様書の読み替え）

- 第3条** 「徳島県測量作業共通仕様書 平成21年4月」、「徳島県設計業務共通仕様書 平成21年4月」及び「徳島県地質及び土質調査業務共通仕様書 平成21年4月」において、「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木事業設計業務編】」とあるのは「徳島県電子納品運用ガイドライン【土木設計等業務編】」と、読み替えるものとする。

（ウィークリースタンス）

- 第4条** 本業務は、ウィークリースタンス（受発注者で1週間のルール（スタンス）を目標として定め、計画的に業務を履行する）の対象業務であり、次の各号に取り組みなければならない。
- （1）ウェンズデー・ホーム（水曜日は定時の帰宅を心がける。）
 - （2）マンデー・ノーピリオド（月曜日（連休明け）を依頼の期限日としない。）
 - （3）フライデー・ノーリクエスト（金曜日（連休前）に依頼をしない。）
- 2 前項第1号は必ず実施するものとし、第2号及び第3号についてはどちらか一方は必ず実施しなければならない。なお、前項第1号から第3号に加えて別の取組を行うことを妨げない。
- 3 ウィークリースタンスとして取り組む内容は、初回打合せ時に受発注者の協議によって決定する。決定した内容は打合せ記録簿に整理し、受発注者間で共有する。
- 4 受発注者は、中間打合せ等を利用して取り組みのフォローアップ等を行わなければならない。
- 5 ウィークリースタンスの取組は、業務の進捗に差し支えない範囲で実施する。

（Web会議）

- 第5条** 本業務は、Web会議の対象業務であり、対面による打合せをWeb会議とすることができる。
- 2 Web会議は、業務着手時の打合せにおいて受発注者の協議により実施を決定するものとする。決定した内容は受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。
- 3 Web会議の内容については、受注者が打合せ記録簿に記録し、相互に確認するものとする。なお、打合せ記録簿にはWeb会議の実施状況写真を添付するものとする。

(本業務の特記仕様事項)

第6条 本業務における特記仕様事項は、次のとおりとする。

1 目的

本業務は、津波浸水想定区域内に位置する徳島県南部総合県民局県土整備部（阿南庁舎）管内の樋門8箇所について、「樋門樋管ゲート形式検討の手引き」（以下、手引き）に基づき、樋門無動力化の検討を行うものである。

2 実施内容

1) 計画準備

本業務の目的・主旨を十分理解したうえで、業務実施にあたっての技術的方針および作業スケジュールを検討し、業務計画書を作成する。

2) 現地調査

既存設備の設置状況、土砂の堆積状況、背後地の利用状況等を把握する。

3) 資料収集整理

既往の調査・計画関連資料、操作頻度等を収集し、整理する。

4) 点検および健全度評価

「ゲート点検・整備要領（案）」に基づき、点検および健全度評価を実施する。

5) 無動力化の検討

現地調査、資料収集整理、点検および健全度評価の結果、各樋門を既存施設のまま無動力化することが可能か、更新に伴い無動力化することが可能かを整理する。

なお、既存施設を更新したとしても、無動力化することが困難な場合は、明確な理由を整理すること。

6) 概算工事費の算定

各樋門ごとに無動力化対策に要する概算工事費を算定する。

7) 検討結果の整理

各樋門毎に現地条件、操作頻度等、健全度評価、無動力化の可否、概算工事費を整理した表を作成する。

8) 報告書作成

前述までの作業の方法、過程、結論について記した報告書を作成する。

提出する成果は次のとおりである。

- (a) 紙媒体報告書(A4チューブファイル綴じ) 2部
- (b) 報告書原稿(電子データ) 2部(正・副2枚)

9) 打ち合わせ協議

打合せ協議は原則として、次の時点で実施する。

ただし、電話等により発注者の意図が反映できるよう配慮する。

- (a) 業務着手時
- (b) 中間打合せ時(1回)
- (c) 成果品納入時